

# 箱崎まちづくり新聞

発行者 箱崎まちづくり協議会  
事務局  
電話 651-7708  
(公民館)

## ★ 盛り上がった箱崎の“夏祭り”

8月3日(土)箱崎校区の夏祭りが開催され、今年は箱崎のイメージソングの披露が行われました。

増山睦芳さん(御茶屋跡)にまちづくり協議会会長の藤野良一さんより表彰状が手渡されました。その後にイメージソング「歌おう!踊ろう!はこぎき」を安部順子さん(汐井1)に歌っていただき、総踊りでも婦人会が振り付けをした箱崎音頭を、ご主人の安部正次さんの歌に合わせて踊りました。

夜店も多数あり、なかでも交流を始めた天瀬町の「鮎の塩焼き」や「地鶏の焼き鳥」は早くに完売していたようです。

今年は小学校の改修工事のため、会場が狭くなり皆様方に御不自由をおかけしたと思いますが、各種団体の皆様、又各町の実行委員さんのご協力で盛大な「夏祭り」になりました。皆様方に厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。



## ★ 天瀬自然体験旅行

(子ども会中心に日帰り自然研修を行いました。)



私は8月20日に天ヶ瀬に行きました。1年生から6年生までの計22名です。大型バスに乗り、まず「豆腐」と「おまんじゅう」作りに行きました。私は「おまんじゅう」を作りました。とってもおいしかったけれど「破れまんじゅう」がたくさんあったのは残念でした。「豆腐」もきれいにおいしく出来上がりました。

次は、川に行きました。私ははじめ、つりをしたけど1匹もつれませんでした。でも他の人がたくさんつったのでバケツにいっぱい魚がいました。

最後に山の上のほうでゲームをしました。1つめは、目かくしをして太陽の光がどこにあるか当てるゲームでした。2つめは背中に動物のカードをつけてヒントをもらい何の動物かあてるゲームです。3つめは目かくしをして林の中を歩くゲームです。前は見えないし、どこかわからなかったのでもちよっと怖かったです。日帰りだったけど、とっても楽しく自然とふれあうことができたのでよかったです。 6年 井手 さやか

## 箱崎四方山話【箱崎党(二)】 古田鷹治

“箱崎党の水ぶれ、松葉でついたな痛がるう(或いはビクツとしよう)” “箱崎党のはねつるべ” “箱崎党な掛け肥ばかり” という古くからの博多側からの箱崎側へ対するナブリ言葉がある。あったというのが或いは正解かも知れない。

その発生は、かつては古老からきいた話では博多再興の折、地割の基礎となる焼け跡整理に秀吉公の命令をうけた箱崎党は積極的に参加し活躍したという。その為か太閤秀吉公は箱崎党を大変に可愛がった。そのことが博多の者には気に喰わなかったらしい。水含み百姓共が・・・ということであろう。また秀吉公は箱崎滞陣中、盛んに茶会を催している。そして箱崎松原の水もたいそう賞めたらしいが、これも博多の人には頭にきたらしい。少々水を賞められた位で、ということであろう。博多再興に対する箱崎党の働きは抜群で感謝されこそすれ悪口雑言される筋合いはない。箱崎も負けてはいない。そこで「博多の者ナ横道もん、大(青)竹割ってへコいかん、へコの銭な払いきらん」となるのである。

このナブリ言葉は、福岡と博多とのナブリ合いの言葉と巷間伝えられるが、それ以前に博多、箱崎にあったと考えるのが自然に思える。ここで気付くことがある。箱崎は明治期「日本三大そさい地帯」の一に数えられている。水ぶくれ或いはハネツルべ、掛け肥などとナブリ言葉に出てくるのは、秀吉箱崎滞陣のころすでに箱崎がそさいの一大生産地であった裏付けと思うのだが如何だろうか。古い文献には、箱崎そさいの起源については、古来より往時より或いは昔時から等の表現で誌るされている。

かつてはナブリ言葉を投げ合っていたかも知れぬが、昨今では博多・箱崎のまちづくりの仲間たちは、毎年交流会をもって相互に訪問しあい、お互いの交誼を深め確かめあっている。

## 歴史文化部会の活動

歴史文化部会は本年度の目標に、箱崎誌（郷土史）作成の為に資料集めと、箱崎地域住民による箱崎の街並み・歴史ボランティアガイドの育成を掲げました。

箱崎誌の作成は部会員全員で資料を持ち寄り、ただ今整理をしており、次年度中に完成を目標にがんばっております。古い箱崎の写真や文献がたくさん集ってきており箱崎により愛着を感じております。校区の皆様方で貴重と思われる写真等お持ちでしたらご協力をお願いいたします。

箱崎街並なみ・歴史ボランティアガイドにつきましては、名称を「箱崎の歴史散策ガイド」とし、現在建設が進んでいる JR 新箱崎駅の 12 月初旬の開業に合わせ、歴史・街並み散策コースの設定や乗客への宣伝を箱崎駅の山口駅長にお願いしております。

箱崎宮をはじめ古いお寺やたくさんの遺跡のガイドが、お客様に満足していただけるように毎月部会を開いて勉強会を行っております。歴史や案内ボランティアに興味がある方のご参加をお待ちしております。



日時 毎月第4水曜日  
19時30分～  
場所 箱崎公民館



## 各部会からの報告



### まち企画部会の活動

まち企画部会は8月20日に「大学通りを考えよう！」と題して部会討論を行いました。

当日はテレビ西日本から取材があり、緊張したおもしろで開催しましたが、活発な意見がでて、大学通りの拡張計画の可否にまで及びました。取材に来ていたスタッフの方からも「すごいですね！」との感想も出ていました。（8月29日に放送）

今後は・・・

箱崎中学校の生徒に、九州大学移転後の跡地計画を含め、箱崎の未来計画策定のためのボランティア活動への要請を行っております。又、箱崎校区の皆様をお願いしておりましたアンケート調査につきましては、現在集計中であり、新しい箱崎の方向性が少しずつ見えてきています。

討論会・未来トークなどを活発に行い、行政に対して「箱崎の意見はこうなんだ」というものを具体的に表せるよう、一步一步確実な活動を展開していきたいと思っております。九州大学移転後の跡地利用や道路問題など、まち企画部会へのご意見をお待ちしております。

お問い合わせ 箱崎公民館

## くらし交流部の活動

今年度のくらし交流部は昨年度の「企画福祉部会」と「地域交流部」が一緒になり発足しました。くらし交流部の事業計画を二分担に分け、活動することになりました。

※ 地域交流（快適で元気いっぱいのまち）  
福祉講演会・9月21日（土）（校区社協と共催）  
ケアビックス11月3日（祝）（15年3月にも予定）  
ふれあい広場11月9日（土）（公民館文化祭当日）

※ コミュニティ作り（商店街活性化）  
コミュニティばんこ・10台作成（昨年も10台作成）  
ふれあいイベント・12月上旬新箱崎駅開業記念  
花づくり教室（花いっぱい運動）・12月に予定

その他に、全体の動きとしてコミュニティ情報版を校区内4箇所に設置する予定です。まち協各部の情報や、校区各種団体のPR、そして校区の皆様からの意見やアイデアなど、かわら版の役割として、利用できたらと存じます。

## ★ レールサイドウォーク

JR 鹿児島本線・立体交差事業の高架橋を歩いてみませんか！

開催日時 平成14年11月3日（日）10:00から15:00（小雨決行）  
開催場所 新箱崎駅及び高架橋（約500mの区間）  
申込み・参加料はいりません。詳しいことは市政だよりをご覧ください。